

2. 選定地域の構想の概要

釧路市バイオマス産業都市構想の概要

北海道釧路市、人口 約18.1万人、面積 約13.6万ha

構想の概要

農業・林業・水産業の1次産業に加え、製造業や港湾、都市機能をコンパクトに備えた地域特性を活かし、家畜排せつ物、食品加工残さ・水産加工残さ、林地残材・製材工場等残材などの地域バイオマスの総動員・多段階(カスケード)利用による循環型社会を目指す。

1. 将来像

- ①バイオマス資源の最適な多段階(カスケード)利用による持続可能な循環型社会の実現
- ②地域内産業の有機的連携による新たな雇用創出と産業の活性化
- ③化石燃料の省エネ・減エネによる低炭素社会の実現

3. 目標(10年後)

- ①バイオマスエネルギー利用率:家畜排せつ物1250%※、食品廃棄物92.9%、建設発生木材10.8%、下水汚泥100%、黒液100%、製材工場等残材97.1%、林地残材9.1%
※H22当時のエネルギー向け想定目標量を上回る量を利用
- ②バイオマスエネルギー量: 135,600万MJ

4. 地域波及効果

- ①温室効果ガスの排出量削減とエネルギー自給率の向上:
91,800t-CO₂/年
- ②エネルギー自給率:4.5%
- ③資源の有効活用と環境保全
- ④雇用拡大・地域の活性化
- ⑤安全・安心な農産物生産への寄与
- ⑥関連産業の創出規模:209百万円

2. 事業化プロジェクト

- ①家畜排泄物を主原料とするメタン発酵施設の整備・運営
・大規模発電・熱利用システム
・地域調和型エネルギーシステム(小規模オンサイト型プラントの設置)
- ②チップボイラー発電事業
- ③林地残材のペレット化事業
- ④溶解パルプ製造時の酸加水分解液の高度利用
- ⑤廃食用油のBDF化の拡充

5. 実施体制

- ・釧路市と阿寒農業協同組合を中心として推進。
- ・進捗状況の評価は、有識者等の意見を聴きながら、市が主体的に実施

6. その他

- ・釧路市総合計画(H20)
- ・釧路市環境基本計画(H23)
- ・釧路市地球温暖化対策地域推進計画(H23)
- ・釧路市地域エネルギービジョン(H22)

釧路市バイオマス産業都市構想の概要

～ 地産地消型バイオマスエネルギー利活用 ～

